

拓水

昭和四十一年度

題字は 県漁連三浦会長

5 月号
No. 116

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町123
発行人 三浦清太郎
TEL 6301-666
編集 拓水編集委員会
発行日 毎月30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

試験研究業務について

兵庫県立水産試験場長 井 沢 康 夫

拓水四月号で、昭和四十一年度水産関係の予算について、森本水産課長の説明がなされているので、ここでは、水産試験場の四十一年度の試験研究業務につき、簡単に記して御参考供にしたい。試験研究課題というものは、毎年新規のものを出すことと考へてみればおかしなことで継続した試験研究の失敗や成功の積み重ねの上で新しい研究課題が生み出されるのが普通である。しかし研究の方向というものは、わが国水産業、とくに県下の水産業の動向を無視した研究であってはならぬことは勿論であって、県の水産試験場は県下の業界の要望を反映した課題を選ぶこととできれば、水産試験場の使命を果し得ないものと思ふ。

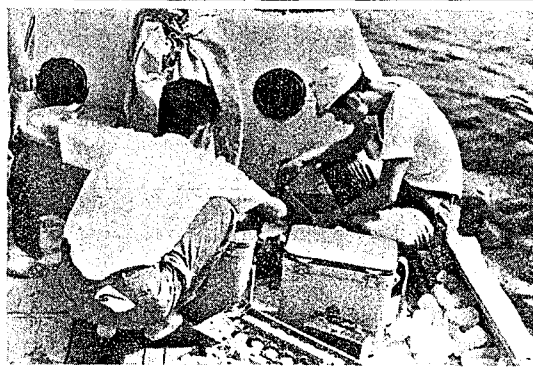
本県は、南は瀬戸内海、北は日本海と、漁業環境の異なる海をもち、対称的に異なる海産物をもつので、研究課題は多岐にわたらざるを得ない。ここに、沿岸漁業にむけては、本水産試験場の機能が、なり、沿岸漁業の経営安定が加えられ、内でも栽培漁業、人員、施設の問題で大きな漁業資源の維持増進に大いに寄与する。全面的に業界の要望に沿って試験研究を実施し、御承知のこととお願いする。又漁業経営の安定には、御承知のこととお願いする。御承知のこととお願いする。

三浦 清太郎氏
塩崎 義民氏 に叙勲

本県漁業界の功労者である両氏は、四十一年春の生存者叙勲により四月二十九日の佳節に次とおそれぞれ叙勲の栄を受けられました。ここに深く敬意と祝意を表します。

三浦 清太郎
塩崎 義民

勲四等に叙し瑞宝章を授ける
勲五等に叙し双光旭日章を授ける



(養殖漁場の採水質調査)

一、漁船漁業に関する試験研究

日本海におけるイワシ、アジ、サバ、スルメイカの漁況を予報することにより、それらの漁業の安定化を図ろうとするものであるが、これは、国庫の助成を得て全国的に実施されているものであって、本水産試験場において実施されている事業の内、最も重要なものである。但馬地区では、沿岸漁業はスルメイカの来遊が最も関心事であるが、本年から正式にスルメイカの子報が、因で認められたので、本県としては、スルメイカの漁場形成要因の機構解明に精力的に取り組んでゆきたい。

二、浅海増養殖に関する試験研究

但馬地区の中核漁業である沖合底曳の漁獲物中、ズワイガニの占めるウェイトは最も大きく、依存度の高いものであるが、その資源調査

本県における浅海養殖は、急速の伸びを示し、更に栽培漁業への方向も漸次定まりつつある。今後はこの方向への努力が行政、試験研究ともに大きなものとなるべくゆく。

イ、ノリ養殖試験
戦後人工採苗技術が開発され、のり生産は急激な伸びを示しているが、本県は、正産に即して現状は手薄である。もっとノリに対し研究の充実を図りたいのであるが、現状ではたいした方がなく、本年は病害(赤くさび)の防除試験に重点をおいて研究を進めることにしている。更に普及員、業者の協力を受けて、冷凍ノリの普及試験を行い、県下において実用化に努めたいと考えている。

二、内海重要水産環境調査

漁場の拡大をはかりたいと考へている。

ハ、沖合スルメイカ漁場開発調査
但馬におけるスルメイカの新漁場の開発は過去に調査により大和堆積近の好漁場があることは判明しているが、更に引き続き、漁場を明らかにするのと同時に、オキナギ及びその西部における漁場形成要因が本県のスルメイカ漁業にとって重要なものであることにしている。又これらの調査と平行して、現在但馬地区で使用しているイカ自動釣機の改良試験を昨年引き続き行って実施し、イカ釣漁業の操業の省力化合理化をはかりたいと考えている。

三、内水面増養殖試験

内水面関係で実施している試験研究方面では、ドジョウ、スズメエビの種苗生産は、農業者及び河川放流用として配布する仕事が大変な比重を占めているが、内水面漁業の将来の方向として、国民リクリエーションの場としてクローズアップされてきているので、本年養殖の予備試験を実施するつもりである。これにより内水面増産の資料を得たいと考へている。

四、水産加工に関する試験

漁業と水産加工は車の両輪であるといわれながら、水産加工に関する試験研究は、県ではおぼろげにしか進んでいない。特に冷凍に関係する加工技術の研究、但馬地区のハタハタ等低価格魚の加工技術の開発に力を注いでゆきたい。

三、内海重要水産環境調査

瀬戸内海の重要水産としてみれば、イカナゴについて、従来から調査を実施しており、その資源動向の把握は、重要な係者から好評を得ている。しかしその他の魚の内、いわゆる高級魚である、魚類の種苗生産は、決に全力を注ぐつもりである。量産化への目標を得たいと考へている。

四、水産資源調査

量産化技術の開発への研究を、施設の許す範囲で行なうて、一部は本年度適地に放流したいと考えている。

ホ、人工餌料の開発試験
水産物の養殖や種苗を生産する際、現在の最も問題は餌である。天然の餌は不足で、人工餌料の開発は、大きな目標となければならぬと考へられている。本年は、人工餌料の開発に取組んでゆきたいが、本年は取りあえずタコ用の餌を中心として基礎的な試験から入ってゆくつもりである。そして漸次他の魚類に及ぼしてゆきたい。

五、ワカメ、コンブの養殖試験

ワカメ養殖はここ一兩年の普及は著しく、採苗、養殖技術は一応業界に取り入れられたと考へる。水試としては、採苗材料、養殖施設等の検討を主として試験を実施してゆきたい。又コンブ養殖試験は昨年度予備的なものとして成功であったので、本年は量的にも質的にも販売ができるようなコンブを作るよう計画を進めている。県下のコンブ業界の物心両面の協力もあるため、どうかして立派なコンブを作りたいたいと願っている。



(二面につづく)

五、漁場環境保全対策調査

河川、沿海とも工業の発、海の漁場を荒廃させる...



タコ冷凍試験 (水分分析及温度測定)

六、指導事業
水試は普及事業における技術面の推進をするのであ...

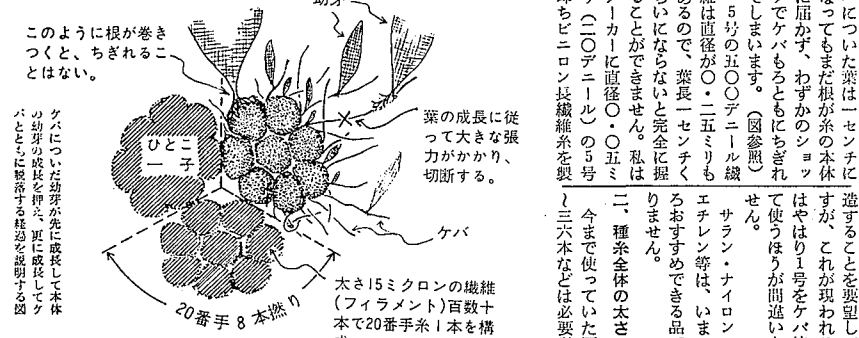
ワカメの採苗にあたって

水試 井伊 明

ワカメの採苗時期も最近迫り、本号では既に選...

一、糸の種類
遊走子づから収獲までを...

現場を把握することに主刀
に沿いたいと思っている...



ワカメの採苗にあたって (図解)

二、糸の事前アウテ抜き
の必要性
昔から「アウテ抜きせよ」...

4~5月の漁海況 (内海側)

この時期は水温上昇期にあつて、上冷下暖の冬型から上暖下...

③ イワシ漁況

3月上旬、大阪湾南部で稚仔(4mm)が採獲され、今年...

④ その他

マサバ一南海区水産研究所の
情報によれば、太平洋南区では...

① 海況

4月上旬の大阪湾、播磨灘の
水温は10~11.5°Cで大阪湾の...

② イカナゴ漁況

今年のシッコ漁は、親魚の年
令組成、稚仔の分布状況、フル...

Advertisement for NEC fish detection equipment, including '新鋭機出現 2周波魚群探知機' and '海上電機株式会社'.

きまずからなるべく早く申
し込んで下さい。
また予約を受けた採苗場
は、県内相互融通という意
味で、県内からの3回より
早く少しでも採苗準備で、買
入りに少なくて済む優秀な種
苗を作るように努力される
ことをお願いいたします。

